

拡大物性委員会（2024 0319）報告資料

物理学委員会委員長 腰原伸也

- (1) 委員名簿、設置分科会一覧
(物理教育分科会はHP未掲載のため本資料に添付)
- (2) 日本学術会議と物理学委員会の現在までの状況について。
- (3) 学術会議の今後の在り方についての状況報告

- (1) 物理学委員会 IAU分科会
 物理学委員会 天文学・宇宙物理学分科会
 物理学委員会 物性物理学・一般物理学分科会
 物理学委員会 素粒子物理学・原子核物理学
 物理学委員会 物理教育分科会 (3月11日時点でHP未掲載、本資料に
 設置提案書、委員名簿添付)
 物理学委員会・総合工学委員会合同 IUPAP分科会
 化学委員会・物理学委員会合同 結晶学分科会

物理学委員会

会員7人

令和5年11月7日現在

役職	氏名	所属・職名	備考
	市川 温子	東北大学大学院理学研究科教授	第三部会員
	奥村 幸子	日本女子大学理学部数物情報科学科教授	第三部会員 第三部幹事
委員長	腰原 伸也	東京工業大学理学院化学系教授	第三部会員
副委員長	櫻井 博儀	国立研究開発法人理化学研究所・仁科加速器科学研究センターセンター長	第三部会員
幹事	杉山 直	東海国立大学機構副機構長、名古屋大学総長	第三部会員
	常行 真司	東京大学大学院理学系研究科教授	第三部会員
幹事	森 初果	東京大学副学長／東京大学物性研究所教授	第三部会員

連携会員22名

氏名	所属・職名	備考
青木 慎也	京都大学基礎物理学研究所所長／教授	連携会員
浅井 歩	京都大学大学院理学研究科附属天文台准教授	連携会員
網塚 浩	北海道大学大学院理学研究院教授	連携会員
飯嶋 徹	名古屋大学素粒子宇宙起源研究所教授	連携会員
生田 ちさと	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所学際科学研究系准教授（宇宙科学広報・普及主幹付）	連携会員
板倉 明子	国立研究開発法人物質・材料研究機構特別研究員	連携会員
梶田 隆章	東京大学宇宙線研究所教授	連携会員
五神 真	国立研究開発法人理化学研究所理事長	連携会員
齊藤 直人	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所所長	連携会員
瀧川 仁	豊田理化学研究所客員フェロー	連携会員
田村 裕和	東北大学大学院理学研究科教授	連携会員
寺崎 一郎	名古屋大学大学院理学研究科教授	連携会員
根本 香絵	沖縄科学技術大学院大学量子情報科学・技術ユニット教授／大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所特任教授	連携会員
野尻 美保子	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所教授	連携会員
肥山 詠美子	東北大学大学院理学研究科物理学専攻教授	連携会員
福嶋 健二	東京大学大学院理学系研究科物理学専攻教授	連携会員
藤澤 彰英	九州大学応用力学研究所主幹教授	連携会員
藤澤 健太	山口大学時間学研究所所長／教授	連携会員
松尾 由賀利	法政大学理工学部教授	連携会員
道園 真一郎	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構加速器研究施設教授	連携会員
山崎 典子	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	連携会員
渡部 潤一	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台特任（上席）教授	連携会員

物理教育分科会

物理学委員会分科会の設置について

分科会等名：物理教育分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	物理学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>大学物理教育の提供は、基礎教育という観点に加え、近年、専門知識として産業界からのニーズも極めて高く、我が国の重要な課題である。</p> <p>26期は以下の2つの課題に取り組む。</p> <p>1) 現在、大学入試を含め急速に変化しつつある高校教育の状況に対応した教育方法、対策の検討を他の理工系分野との連携も視野に入れながら行う。</p> <p>2) 第25期では、我が国の理工系教育におけるダイバーシティの推進の立ち遅れの現状と諸課題を明らかにした。第26期では、課題を整理し提言内容の継続的発信と、今後の具体的課題について高校教育界なども含めて幅広く議論し、意見交換をするためのシンポジウムを開催する。その際、数学等理工系諸分野や関連教育分科会との協力も積極的に模索する。</p>
4	審議事項	<p>1. 中等教育課程(可能なら初等教育課程も含む)の女子生徒を中心に、物理分野への進学を促すための方策の調査、検討</p> <p>2. 物理教育研究とそれに基づく物理教育改革に関わる課題(中等物理教育の課題も含む)の検討・情報発信</p> <p>3. 広く理工系教育の改革の共通課題に関する検討・情報発信に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和6年1月25日～令和8年9月30日
6	備考	

氏名	所属・職名	備考
市川 温子	東北大学大学院理学研究科教授	第三部 会員
板倉 明子	国立研究開発法人物質・材料研究機構特別研究員	連携会 員
新永 浩子	鹿児島大学学術研究院理工学域理学系准教授	連携会 員
関口 仁子	東京工業大学理学院物理学系教授	連携会 員
中山 迅	宮崎国際大学教育学部教授	連携会 員
早瀬 潤子	慶應義塾大学理工学部教授	連携会 員
藤井 良一	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所特任研究員	連携会 員
藤澤 健太	山口大学時間学研究所所長/教授	連携会 員
横山 広美	東京大学国際高等研究所カブリ数理連携宇宙研究機構教授	連携会 員
笠 潤平	香川大学教育学部教授	連携会 員
渡部 潤一	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台特任(上席)教授	連携会 員

(2) 必要な改革は自分たちでやってしまおう

日本学術会議第 26 期アクションプラン骨子(案)

令和5年 12 月9日

1. タイムリー、スピーディな意思の表出と助言機能の強化
2. 学術の発展のための各種学術関係機関との密接なコミュニケーションとハブとしての活動強化
3. ナショナルアカデミーとしての国際的プレゼンスの向上
4. 産業界、NGO/NPO をはじめとする多様な団体、国民とのコミュニケーションの促進
5. 学術を核とした地方活性化の促進
6. 情報発信機能の強化
7. 事務局機能の拡充を含む企画・執行体制の強化
 - ・ 幹事会の下に、2つのWGを設置予定
 - ・ 第26期日本学術会議のあり方に関する検討WG
 - ・ 第26期アクションプラン企画WG
 - ・ 今後の予定
 - ・ 4月総会で、両WGにおける検討内容を報告

科学者委員会

- ジェンダー・エクイティ分科会
- 学術体制分科会
- 学協会連携分科会
- 学術研究振興分科会
- 研究評価分科会

科学者委員会 学術体制分科会 (物理学委員会メンバーは含まれず)

科学者委員会 学術体制分科会 (第 26 期・第 1 回)
議事次第

1. 日時 令和 6 年 2 月 27 日 (火) 10:00~12:00
2. 会場 オンライン会議 (Zoom)
3. 議題 1) 役員の選出
2) 第 26 期の審議の進め方について
3) その他

資料:

- 参考資料 1 提言「第 6 期科学技術基本計画に向けての提言」
- 参考資料 2 提言「第 5 期科学技術基本計画のあり方に関する提言」
- 参考資料 3 提言「第 4 期科学技術基本計画への日本学術会議の提言」

科学者委員会 学術研究振興分科会 (物理学委員会の山崎先生 (天宇) が入っている)

学術研究振興分科会 (第 26 期・第 1 回)
議事次第

1. 日時 令和 6 年 2 月 28 日 (水) 17:00~19:00
2. 会場 オンライン会議 (Zoom)
3. 議題
2) 第 25 期の活動及び提言「未来の学術振興構想 (2023 年版)」について
3) 今期の活動方針について

おそらく今期末にも改訂版を出す方向と思われる

時間と人員、予算の不足で、
まだ日本の研究力強化関連委員会は今期は立ち上げに至らず
(4月の総会では25期の委員長山口先生が招待講演をされる)
ただ今後意志の表出は全体に英語アブストなども付けて外部への訴求力を強める方向は試行中

提 言

未来の学術振興構想（2023年版）



令和5年（2023年）9月25日

日 本 学 術 会 議

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-25-t353-3.html>